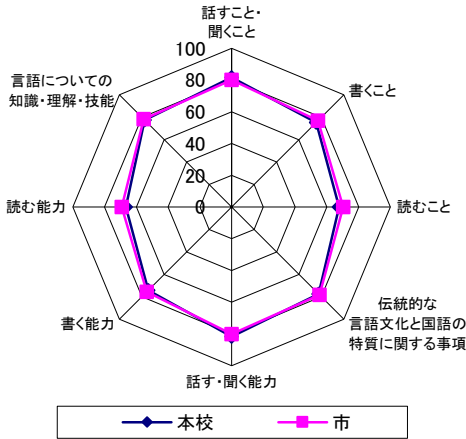


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	81.7	80.1	77.9
	書くこと	75.3	76.8	65.3
	読むこと	67.7	70.3	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.5	78.3	74.3
観点別	話す・聞く能力	81.7	80.1	77.9
	書く能力	74.1	75.6	64.2
	読む能力	66.6	69.2	65.4
	言語についての知識・理解・技能	77.5	78.4	73.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の内容を正確に聞き取る、共通する点を聞き取る、司会者の工夫を聞き取る、すべての聞き取る分野においては市の平均より2.5ポイント高い。 ○互いの発言を検討して自分の考えを述べる問題は市の平均とほぼ同じである。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・グループでの話し合い活動を定期的に取り入れ、グループでの役割をローテーションしながら話し合い活動することにより、聞く力と相手の意見を踏まえて自分の考えを述べる力を見に付けられるよう指導する。 ・普段の授業の中で、自分の意見を整理する時間を取り、落ち着いて発言できる環境を整え、発言の機会をより多く設けるようにする。
書くこと	○作文の問題の自分の考えを明確に書くことができるという問題は、市の平均より1.9ポイント高い。 ○作文の問題の自分の考えの理由を書く問題は、市の平均とほぼ同じである。 ●資料を集めて発表原稿を書くという問題は、市の平均より3.9ポイント低い。	・授業中に自分の考えを書き表す時間をできるだけ設ける。 ・様々な資料から伝えたい内容を検討し、検討したうえで書き表させる時間を設けることで、伝えるべき内容を考慮して書き表す力を付けさせる。
読むこと	○文学作品の登場人物の心情をとらえる問題等においては市の平均よりも高い、またはほぼ同じである。 ●説明文の内容を読み取る問題においては、市の平均より4.1ポイント低い。	・文学作品を通して、場面ごとに情景描写や表現の特徴を捉えることで、登場人物の心情や行動の背景を読み取る力をさらに付けさせる。 ・説明的文章などの教材を通して、文章の展開を捉えたうえで、要旨をまとめる時間を設ける。 ・語彙を調べたり、短文を作らせたりすることで語彙力を高めさせる。 ・説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取ることができるよう指導する。そのためには、多くの説明的文章に触れさせ、様々な考え方やものの捉え方があることに気付かせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字を読む問題は、市の平均よりもやや高い。 ○用言の活用、類義語・対義語についての理解の問題では、市の平均より4.5ポイント高い。 ●漢字を書く問題においては、市の平均より低い。 ●歴史的仮名遣いを直す、敬語についての理解の問題では、市の平均より2.2ポイント低い。	・年間を通して、漢字の小テストを行うことで、読みだけでなく書き取りの力の定着を図る。 ・古典の学習については、音読を多く取り入れることにより、歴史的仮名遣いに慣れさせるよう努める。